

# 令和元年度児童生徒の歯と口の健康事業推進委員会 議事録

令和元年 11 月 7 日

1 学校歯科医会会長、保健給食課長ご挨拶

2 委員紹介

3 議題

(1) 「平成 30 年度児童生徒の歯と口の健康事業実績調査 結果報告」

(2) 「令和元年度児童生徒の歯と口の健康事業実績調査の実施について」

事務局（資料 1 を説明）

- ・資料 1 については、秋の臨時健診および給食後の歯みがき等に関する実績調査であり、小学校全 65 校と、中学校全 34 校でアンケート形式の調査を行った。
- ・小学校については、秋の臨時歯科健診は昨年度と同数の、65 校中 45 校が実施したと回答があった。実施できなかった学校については、行事が多く時間の確保が難しいと言った点が最も多く、また、定期健康診断の結果が良好なためといった意見もあった。
- ・給食後の歯みがきについては、小学校は昨年度から 2 校増え、65 校中 17 校が実施したとの回答であった。実施している 17 校の内、学校全体で実施している学校は 2 校、一部の学年で実施している学校が 7 校、期間を区切って実施している学校が 6 校、一部の学年で期間を区切って実施している学校が 2 校、という結果であった。
- ・今後の給食後の歯みがきについて児童に向けた推進方法として、「保健だより」等で推奨していくといった回答が最も多く、他には歯科保健指導時の呼びかけや、安全面、衛生面からブクブクうがいを推奨しているという回答であった。
- ・その他歯みがき以外に取り組んでいることとしては、歯みがきカレンダーの作成やポスターの応募などの啓発の取り組みや、歯垢染色テストや RD テストなどの歯科保健指導の実施を行ったとの回答であった。
- ・また、フッ化物洗口剤使用検討の有無であるが 30 年度検討した学校は 3 校、来年度以降の検討意向有と回答した学校は 4 校であった。実際にフッ化物洗口に取り組んでいる学校はゼロという結果であった。
- ・中学校では、秋の臨時歯科健診は昨年度と同数の、34 校中 10 校が実施したと回答があった。実施できなかった理由は小学校と同様に、行事等で時間の確保が難しいといった点が多く挙げられた。
- ・給食後の歯みがきについては、中学校は昨年度と同数の、34 校中 9 校が実施したと回答があった。実施している 9 校の内、学校全体で実施している学校は 3 校、一部の学年で実施している学校が 2 校、期間を区切って実施している学校が 4 校という結果であった。
- ・今後の給食後の歯みがきについて生徒に向けた推進方法として、小学校と同様「保健だより」等で推奨して行くという回答がほとんどだが、中には「保健委員会による呼びかけ」といった回答もあった。

- ・その他歯みがき以外に取り組んでいることとして、ポスターや掲示物等での啓発や、受診勧告書の再発行をし、受診を促すとの回答があった。
- ・また、フッ化物洗口剤使用検討の有無であるが 30 年度検討した中学校はゼロ、来年度以降の検討意向有と回答した学校は 4 校であった。

#### 事務局（資料 2 を説明）

- ・資料 2 は小学校で配付している良い歯のバッジについての実績調査の結果である。
- ・良い歯のバッジの配布率については、平成 30 年度は小学校全校を平均すると 94.3%の配布率となっており、昨年度と変わらず、90%を超える高い配布率を保っている。
- ・バッジの配布時期は、春の定期健康診断後の 6 月に配布した学校が最も多く、また、2 回目の配布は、「むし歯」を治療してきた児童に配布すると回答した学校がほとんどであった。

#### 学校歯科医会

- ・秋の歯科健診の実施校は小・中あわせて 5 割強という結果であった。練馬区では秋の歯科健診で所見があった児童生徒には、受診勧告書を出して後日、歯科医院で無料で受診できることになっている。勧奨後の受診率は上がってきていると聞いている。今後とも勧奨後の受診率を上げるよう取り組んでまいりたい。
- ・中学校では様々な要因により秋の健診を実施していない学校が多いが、中学校でもぜひ実施していただきむし歯ゼロに取り組んでまいりたい。
- ・給食後の歯みがきについては、昼休みの時間が短い、教員の負担が多い等、各学校の事情は承知しているが各学校においてぜひとも取り組んでいただきたい

#### 歯科衛生士

- ・資料 1 で給食後の歯みがきについて児童生徒が自主的にやっているかと回答している学校があるが、どのような雰囲気で行っているのか。

#### 小学校養護教諭

- ・小学校では周りがやっているとやりづらいという雰囲気がある。前任校の事例だが保護者から個別に依頼があり保健室で歯みがきをやっていたことはあったが、流し場で自主的にやっていたことはなかった。

#### 学校歯科医

- ・先日、他区から転校してきた児童の保護者から練馬区では給食後の歯磨きをやらないのかという問い合わせが学校歯科医会にあった。給食後の歯みがきを実施していない学校であったが、練馬区でも給食後の歯みがきを推奨しているという回答はした。また、自主的にやることもできると案内した。
- ・流し場が足りなくて給食後の歯みがきができないという意見はあるが時間をずらしてやっていくことで実行できるかと考えている。また、歯みがきをしながら遊んでしまって歯ブラシを飲みこんでしまうという懸念も机でゆっくりみがくことで解決できると考えている
- ・今後、改築を行う学校では、蛇口が生徒数の対して一定の割合になるような設計をしていただくよう教育委員会で調整してもらっている。
- ・今後とも給食後の歯みがきを推奨していきたい。

#### 歯科衛生士

- ・給食後の歯みがきを全学年で一斉に実行するとなると確かに流し場が混み合い実施が難しいと感じている。今後、どう実行するかは一緒に検討していきたいと考えている。

#### 歯科医会

- ・フッ化物洗口については各校長先生が納得した上で実行していただくのが第一条件と考えている。その後、安全性等を協議した上で遂行したいと考えている。学校歯科医会では今年度、フッ化物洗口の実施についてのパンフレットを作成中である。現在はフッ化物洗口を実施している学校はゼロであるが、各学校でフッ化物洗口を検討していただければありがたい。
- ・よい歯のバッジの配布については、児童が歯みがきをするよいはげみとなっているためせひとも続けていただきたい。
- ・昨日、担当している学校で就学児健診があったがむし歯ゼロであった。長年、健診をやっているがむし歯ゼロは初めてであった。

#### 事務局

- ・よい歯のバッジの配布率が9割を超えていることは喜ばしいことだが、バッジをもらっていない児童・生徒の中で虐待や育児放棄の発見につながったような事例はあったか。

#### 歯科医会

- ・歯科医会として虐待や育児放棄の事例につながったような報告は受けていない。

#### 学校歯科医

- ・以前に担当した区の休日診療で顎の骨を折った子どもが来た事例はあった。虐待は否定していたが休日診療に虐待や育児放棄の事例につながるような事例があるかもしれない。

### (3) 平成30年度歯みがき巡回指導 中間報告

#### 歯科衛生士（資料3を説明）

- ・10月末現在で、小学校の歯みがき巡回指導は33校中30校で終了した。特別支援学級は特別支援学級単独でやっている学校と通常学級と同じ時間に実施している学校がある。
- ・内容としては、講義・歯みがき実習と講義・歯垢染色に分けられる。講義・歯みがき実習では歯垢染色を行っていない。
- ・中学校では17校中9校で終了している。資料の講義と書かれている学校は学年単位で体育館で実施した。クラス数が多い学校は学年単位で実施している。講義・実習と書かれている学校は、クラス単位で歯垢染色、RDテスト、デンタルフロスの実習を行った。

#### 学校歯科医

- ・歯みがき巡回指導については各学校から大変評判が良いことを聞いている。来年度以降も継続をお願いしたい。

- ・昨年度、学校歯科医会ではスマホで口腔内細菌が見える顕微鏡である「ミルキン」を購入した。学校から歯みがき巡回指導等で希望があれば貸し出しを行うのでぜひ活用してほしい。

#### 歯科衛生士

- ・巡回指導の際に使用している講義用 DVD にミルキンでとった口腔内細菌を収録している。

#### (4) 小学校、中学校歯みがき巡回指導の実施に関するお願い

#### 歯科衛生士（資料4を説明）

- ・11月下旬に来年度実施の文書を配布するにあたりこの場で注意点を述べさせていただく。
- ・日程、内容の決定については、必ず学校歯科医と打ち合わせし、学校内での調整もお願いしたい。また、学校歯科医の参加は必ずお願いしたい。
- ・実施学年について、歯みがき巡回指導は一学年のみ対象、特別支援学級については普通学級と同学年の児童・生徒を対象として実施する。実施方法については担当の歯科衛生士へ相談してほしい。
- ・実施時間の設定については、実施時間は2校時以降で設定する。毎年、4月に入ってから1校時に変更する学校があるが、勤務時間の都合上難しいので2校時以降でお願いしたい。また、クラスごとに実施する場合、3クラス以内では1クラスずつの実施とし、4クラス以上では同時に実施できるのは2クラスまでとする。
- ・実施内容について、時間の都合上、歯垢染色とRDテストは、どちらか一つのみを選択し、クラス単位での実施とする。
- ・実施希望日の記入は、希望にそえない場合もあるため、第1希望だけではなく第3希望まで記入していただくようお願いしたい。

#### 学校歯科医

- ・巡回指導には学校歯科医が必ず立ち会うよう周知をしている。引き続き学校歯科医と養護教諭の密な連絡調整をお願いしたい。

#### 小学校養護教諭

- ・毎年、要望していることだが巡回指導は大変いい事業のため、隔年ではなく毎年実施してほしい。

#### 歯科衛生士

- ・歯みがき巡回指導は、限られた歯科衛生士の人員で実施しているため毎年実施は難しい。巡回指導を実施しない年でもDVD教材の貸し出しを行っているためぜひ活用してほしい。
- ・また、巡回指導を実施しない年には学校歯科医が中心となって行ってほしい。巡回指導時に全校で学校歯科医のご協力をいただいているわけではないようなので、学校歯科医会からも学校歯科医会にご協力をいただけるよう改めての周知をお願いしたい。

## 学校歯科医会

・巡回指導がない年も歯磨き指導を途切れないうでやることが重要であると考えている。巡回指導の年は歯科衛生士中心で、巡回指導がない年には学校歯科医と養護教諭中心で歯磨き指導を行っていくというのが学校歯科医会の考え方である。ご指摘のあった歯磨き指導の学校歯科医への協力を改めて周知する。

### (5) 平成30年度歯みがき巡回指導日程調整決定までの流れ

#### 歯科衛生士（資料5を説明）

- ・学校保健係から実施校へ文書発送（11月下旬）をする。
- ・小学校は保健相談所から、中学校は健康推進課から日程候補日、実施内容等の調査の文書を発送（12月上旬）する。
- ・実施校（養護教諭）と学校歯科医で巡回指導の候補日と指導内容の打ち合わせしていただく。
- ・実施校からの回答（日程希望日・実施内容）（1月上旬）をいただく。
- ・実施校へ日程決定の連絡（1月末）を学校保健係からする。
- ・保健相談所から実施校へ確認の連絡（4月）をする。
- ・前年度に打ち合わせを行っていたが、翌年度に養護教諭が人事異動で変わり、引継ぎがされていないケースがある。急な変更は対応が難しいため、養護教諭が変わっても引継ぎをぜひお願いしたい。
- ・保健相談所から実施校へ打合せ日程を決めるための連絡（実施日の1か月前頃）をする。
- ・実施校との打ち合わせをする。今年度、学校のパソコンが変更された関係でDVDが映らない学校があった。そのため、来年度は事前にDVDが映るか事前の確認をさせていただく場合がある。

### (6) 歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール募集の案内

#### 歯科衛生士（資料6を説明）

- ・毎年、小学校は5月締め切り、中学校は9月締め切りとしている。小学校の4月は学校行事で忙しいとは思いますが、応募を増やすためぜひ募集の周知をお願いしたい。
- ・参加賞としてすべての児童生徒に歯ブラシを配布している。また様々な賞を用意しているのでぜひ参加いただきたい。
- ・応募方法は健康推進課へ直接持参か歯科医師会にゆうパックの着払いとなっているため郵送料はかからない。
- ・特賞は東京都学校歯科医会に推薦をしている。今年度は、小学校のポスターの部で東京都で2位となった作品があった。また、特別支援学級の部で東京都で3位となった作品があった。いずれも練馬区で初の東京都での入賞となった。
- ・中学校の入賞作品は11月8日まで区役所アトリウムで展示を行っている。また、小学校の入賞作品は6月に区役所2階通路に展示している。また、区ホームページ、学校歯科医会ホームページにも掲載しているのでぜひご覧いただきたい。
- ・今年度、小学校は図画7校、ポスター16校、特別支援学級4校、中学校は5校の応募数であった。小学校の応募作品が少ないため、ぜひ来年度以降の応募のほどお願いしたい。

## 学校歯科医会

- ・学校歯科医会会長も毎年、審査員として参加しているが感心する作品が多い。
- ・今年度、東京都で2位になったポスターはすばらしかった。練馬区は他区に比べて応募作品が少ない傾向にある。ぜひ来年度以降の応募のほどお願いしたい。
- ・練馬区学校歯科医会でも応募作品を過去の応募分も含めてホームページに掲載している。ぜひご覧いただきたい。

### (7) 令和2年度からのう蝕活動性試験の対応について

#### 事務局（資料7を説明）

- ・現在、小学校4～6年生を対象に学校歯科医の助言・指導を受け、う蝕活動性試験、RDテスト、歯垢染色テストを学校の希望に合わせて実施している。
- ・う蝕活動性試験を実施している学校は9校と一部の学校に留まっている。また、う蝕活動性試験を希望する学校にはカリオスタッドボックスを区から郵送しており、年間約10万円の郵送費がかかっている。
- ・カリオスタッドボックスを使用すると結果が出るまで2日かかるが、カリオスタッドボックスと同じ効果が得られるRDテストを実施すれば15分で結果がでる。
- ・区が所有しているカリオスタッドボックスは、老朽化が激しくすべて24年以上が経過している。そのため1回壊れてしまうと更新が難しい状況である。
- ・これらの状況を踏まえ、事前に学校歯科医会に協議した結果、令和2年度から歯と口の健康事業としてのう蝕活動性試験を廃止する。なお、現在、う蝕活動性試験を実施している小学校は来年度からRDテストに移行する。移行する学校の学校歯科医は、事前に小学校にRDテストの助言指導を行う。
- ・以上が事務局案である。う蝕活動性試験の廃止についてご意見等あればお願いしたい。

## 学校歯科医

- ・学校歯科医会でも事前に理事会で協議し、う蝕活動性試験を廃止するという事で合意を得た。本日の会議を受け学校歯科医会の理事会で正式に廃止の通達を行う。この件について、ご意見等はあるか。なければ次の議題に移りたいと思う。

### (8) 学校歯科医会からの歯ブラシ配布について

#### 事務局（資料8を説明）

- ・昨年度から、学校歯科医会の厚意により教育委員会として歯ブラシの贈呈を受けた。昨年度は、給食後の歯みがきを全学年で実施している小中学校のうち地域バランスや配布本数を考慮し、小学校4校、中学校4校を選定させていただき配布した。
- ・今年度は全学年で給食後の歯みがきを実施している学校のうち昨年度の小学校4校、中学校4校を除いた小学校5校、中学校2校と給食後の歯みがきを実施している学校のうち歯みがき実施が特別支援学級のみでない小学校1校、中学校1校の計小学校6校と中学校3校を選定し、計3,800本の配布を行った。
- ・配布実績は資料のとおりである。

#### 学校歯科医

- ・補足だが、小学校低学年用、小学校高学年用、中学生用の3種類を配布した。
- ・来年度も学校歯科医会の理事会で協議の上、配布を継続する予定である。

#### 4 その他

##### フッ化物洗口について

#### 学校歯科医会

- ・補足だが、フッ化物は、練馬区の水道水にも0.1ppm含まれている。また、フッ化物は、すべての海水、野菜、穀物、お茶等にも含まれており安全なものであるということを付け加える。その他、何か意見等はあるか。

#### 学校歯科医

- ・資料1の各学校の取り組み状況を見ると給食後にうがいを実施している学校がある。うがいを実施している学校はフッ化物洗口はできるのではないかと思う。フッ化物洗口を実施する学校がでてこないにはどういった要因が考えられるのか。

#### 中学校校長

- ・資料1のとおり中学校ではフッ化物洗口をやっている学校はゼロ、来年度以降に検討する学校も4校という状況である。中学校全体では、給食後の歯みがきがなかなか進んでいない状況である。本校を見てみても生徒数が多いため、全校一斉に給食後の歯みがきを実施するのは難しい。フッ化物洗口をやるなということではないが、多くの学校では、給食後の歯みがきの定着をすることを優先しているのではないか。

#### 学校歯科医会

- ・他地域ではフッ化物洗口を取り入れている学校があるが、東京は進んでいない状況である。他地域での取り組みによりフッ化物洗口は、効果が実証されているため、給食後の歯みがきと併せてフッ化物洗口も推奨していきたいと考えている。

#### 小学校養護教諭

- ・フッ化物洗口は、歯磨きと併せて行うのがよいのか。それとも単独でやっても効果が出るものなのか。歯みがきと併せて行うものであるとすると、給食後の歯みがきを多くの学校で実施することをまず優先した方がいいのではないか。

#### 学校歯科医会

- ・歯みがきと併せて行うことで効果がある。学校歯科医会では、12歳までの永久歯に生え変わる時期に給食後の歯みがきと併せて実施することでより効果が得られるものとして考えている。そのため、できる範囲内での実施をお願いしているところである。ただ、学校側のフッ化物洗口を実施できていない理由も十分に承知している。今後とも質問等があれば学校歯科医会までお問合せいただきたい。